



日本の教育システムと高等教育

—大学と専修学校専門課程(専門学校)の関係を中心に—

平成20年2月18日

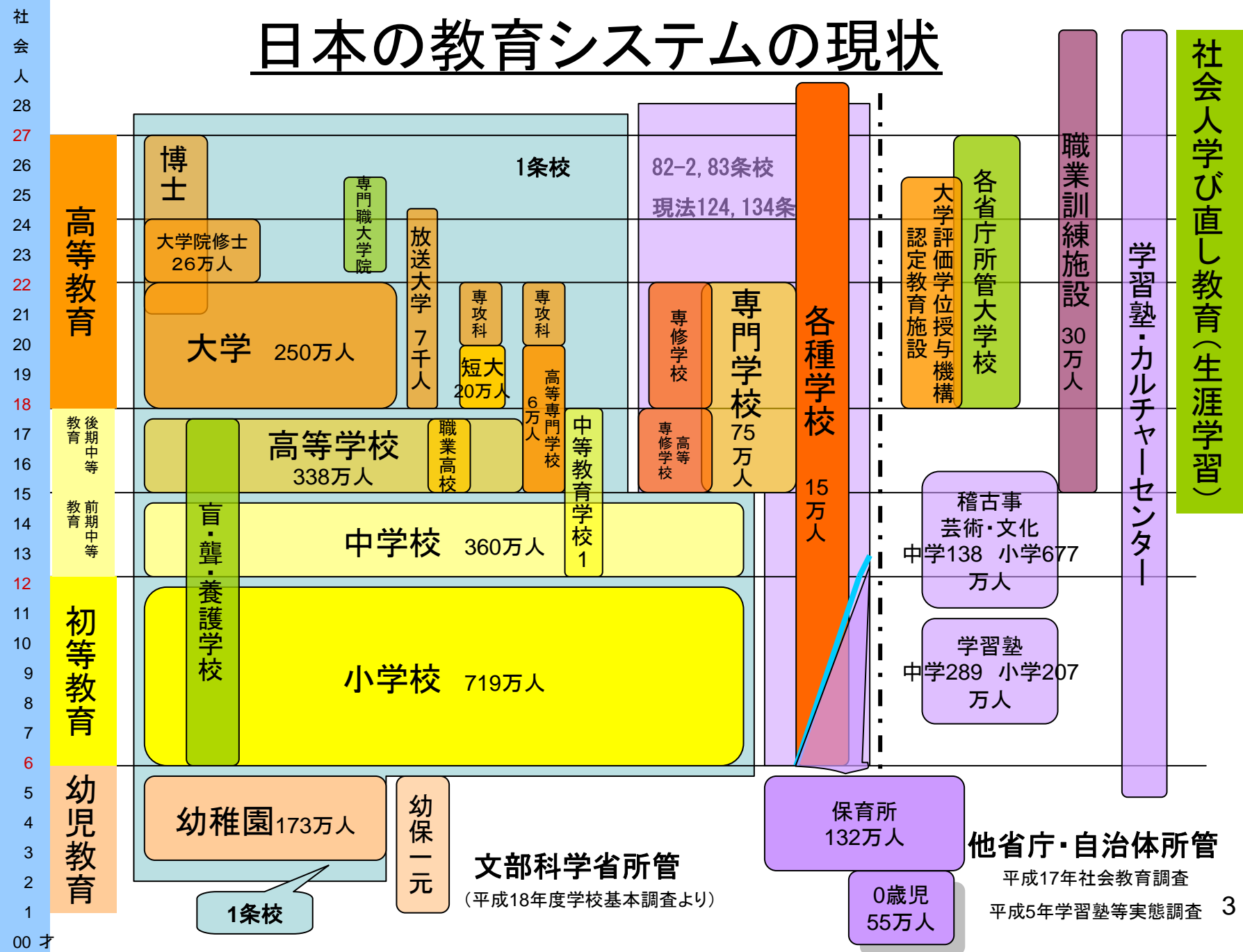
金沢工業大学 学園長・総長 黒田壽二



目次

1. 日本の教育システムの現状
2. 高等教育機関としての専修学校
Higher Education
Post-secondary Education
3. 大学教育の課題
グローバル時代の国際的通用性
学問(アカデミック)強化と実学への対応
4. 普通教育と職業教育
資格社会への対応 — 産業教育と即戦力、
ダブルスクール、エクステンション、インテンション
知の時代を支える生涯学習
大学との 単位互換制度
5. 専修学校からの多様な進路
大学学部への編入制度、大学院入学制度、専門職大学院創設
6. 今後の課題

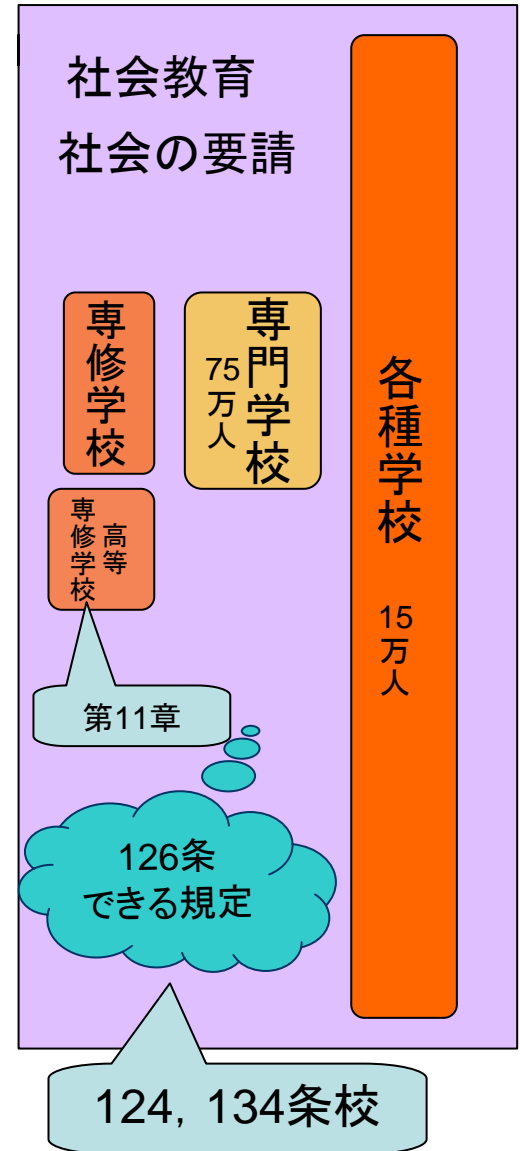
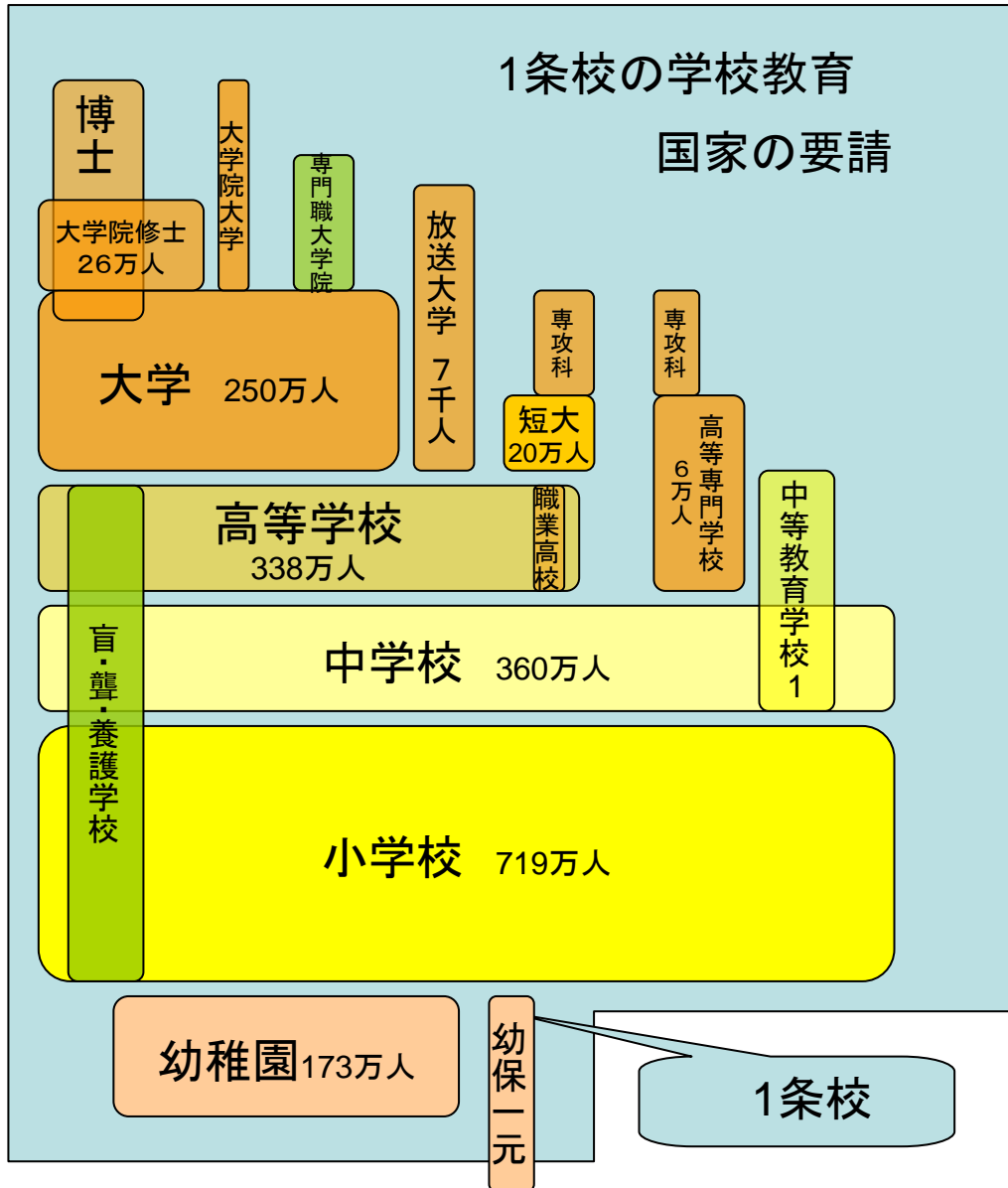
日本の教育システムの現状



文部科学省所管
(平成18年度学校基本調査より)

他省庁・自治体所管
平成17年社会教育調査
平成5年学習塾等実態調査

学校教育法上の教育システム



社会人 28
27
26
25
24
23
22
21
20
19
18
17
16
15
14
13
12
11
10
9
8
7
6
5
4
3
2
1
00

高等教育

後期中等教育
前期中等教育

初等教育

幼児教育

1. 日本の教育システムの現状

1. 戦後の6-3-3-4制の単線型教育システムの導入
2. その後補完的に新しい制度を逐次付加
3. 教育システムの複雑化が進む
4. 複線型的システムと偏差値信仰の弊害
5. 1条校としての学校教育の定義と社会教育の変化
6. 国家にとって不幸なエリート教育の否定
7. 他省庁所管の学校を無視した政策の不幸

2. 高等教育機関としての専修学校

- ➡ 昭和50年7月に各種学校から一定の要件を満たすものを切り分けて創設された。第7章の2 専修学校 現法第11章(19.6改正)
- ➡ 専修学校の目的は、「職業若しくは**実際生活に必要な能力を育成し、又は教養の向上を図ること**」と規定した、新しい学校制度である。(82条の2 現法124条)
- ➡ 専修学校は、入学資格、修業年限、教育内容などが異なる非常に広い範囲の分野の教育を、**自由かつ弾力的**に行い、実用的知識、技術を習得させる教育機関である。
- ➡ 1条校に規定する短期大学の目的は、「職業又は**実際生活に必要な能力を育成のための学問を、体系的に教授研究する**」としている。
- ➡ 日本の高等教育機関には「Higher Education」と「Post-secondary Education」がある。

3. 大学教育の課題

- 大学の目的に、学問としての教育、学術研究に加え社会貢献が加わる。

「大学は、学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させる(旧法52条)。その成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与する」 現法第9章第83条

- グローバリゼーションと国際的通用性

- 1) 大学は、国内比較から、国際比較へ変化し、国際水準が問われている。
- 2) 多様な学生受入と学位授与の厳格化においては、中教審答申「新時代の大学院教育」が示され、現在は学部教育を「学士課程教育」として、その在り方を検討中である。
- 3) 今後の認証評価は、専門分野別水準評価を避けて通れない。

- 学術、学問(アカデミック)教育の強化と実学教育

大学は、その目的を見失うことなく、実学教育に於いても学術的探究を基本とすべきである。

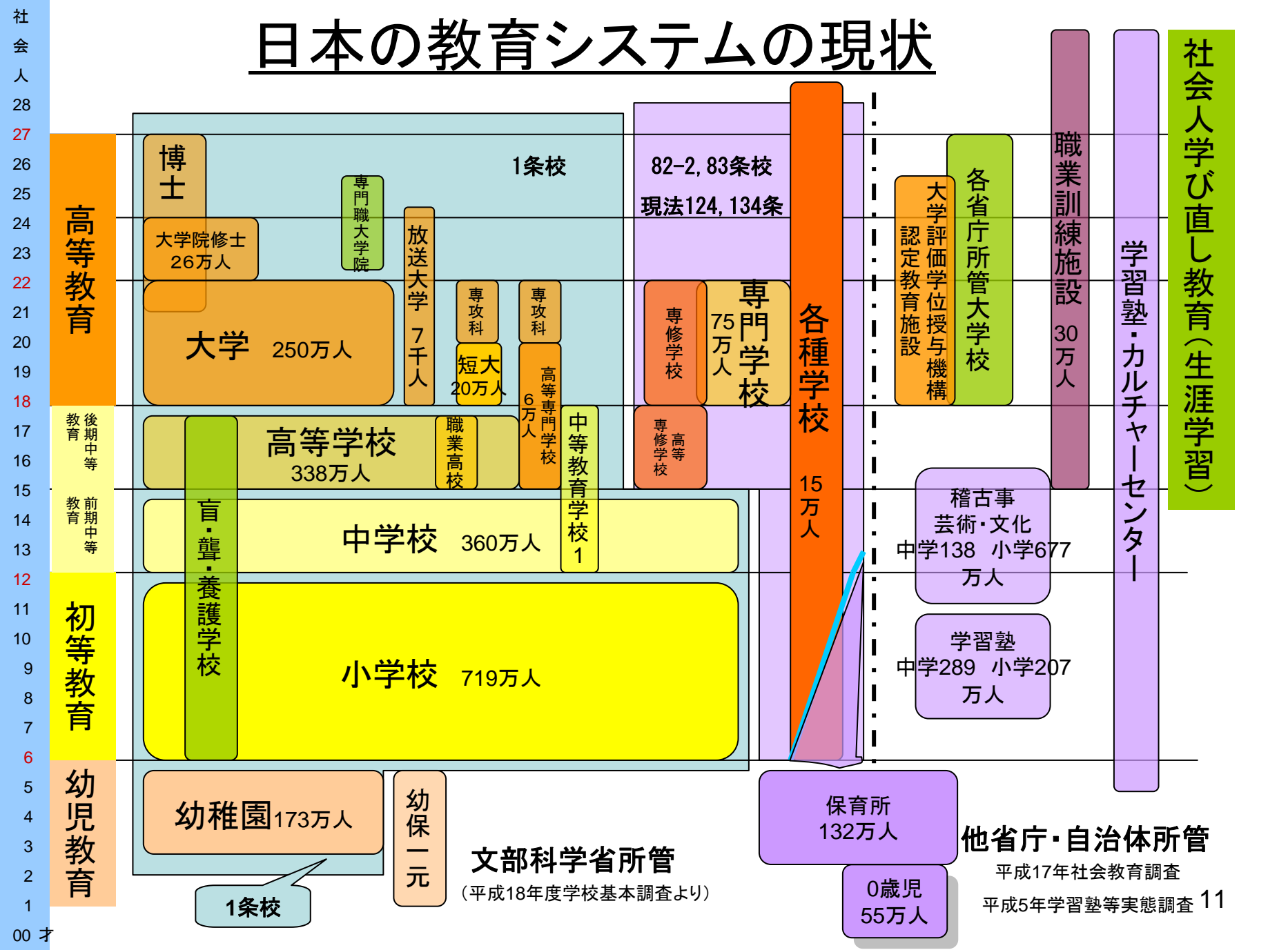
4. 普通教育と職業教育

- 普通教育は、社会人として身に付けるべき基礎、基本の普遍的な能力を育成するものと解されている。
- 職業教育は、普通教育に加え、専門とする技能、技術、技芸を習得させることである。
- 職業教育は、それを語る立場により、実学教育、実務教育や産業教育等と称され、その内容は曖昧である。
- 進行している「資格社会」への対応を如何にすべきか。
- 時代と共に変化する産業界の言う即戦力とは何か。
- 知識基盤社会を支える生涯学習の多様性をどう見るか。
- 共通項は、「個性豊かな創造性溢れる人材の育成」にある。

6. 今後の課題

- ➡ 日本の教育システム全体を俯瞰し、如何なる改革、改正が必要かを検討すべきである。
- ➡ 日本の大学には、University. Institute. Polytechnic. (College. School) が混在している。
- ➡ 大学の専門学校化と専門学校の大学化が進み両者の棲み分け、特色化を如何に考えるか。
- ➡ ダブルスクールの普及と単位互換制度。
大学と専門学校間、大学間、専門学校間等
- ➡ 大学における技能教育、資格取得教育の在り方。
エクステンションからインテンションへ
- ➡ 学術の中心としての大学は如何にあるべきか。
- ➡ 多様な専修学校の名称を如何に考えるか。
専門学校、専修学校専門部、高等専修学校、専修学校高等部、各種学校等

日本の教育システムの現状



文部科学省所管
(平成18年度学校基本調査より)

他省庁・自治体所管
平成17年社会教育調査
平成5年学習塾等実態調査 11